

# 歴史的建物で「六甲おろし」

## 甲子園会館ライトアップ 3000人が堪能



阪神タイガースのユニホームを着て、六甲おろしを披露する武庫川女子大の卒業生＝西宮市戸崎町

国の有形文化財に登  
録されている武庫川女  
子大学の甲子園会館  
（西宮市戸崎町）が26  
日と27日、ライトアッ  
プされた。今年は同会

館でプロ野球阪神タイガースの応援歌「六甲おろし」が発表されてちょうど80年の節目。記念のコーラスなどもあり、計約3千人が幻想的なひとときを楽しんだ。

同会館はアメリカ人建築家フランク・ロイド・ライトの弟子、遠藤新が設計し、1930年に上流階級の社交場「甲子園ホテル」として開業。第2次世界大戦後は米軍将校の宿舎に利用されるなどして65年に武庫川学院が譲り受けた。

27日は午後5時半のカウントダウンに合わせて、10万個の明かりが一斉に点灯。さまざまな角度から照らされて暗闇に浮かぶ重厚な姿に訪れた人たちは息をのんだ。

神戸市垂水区の主婦黒川未央さん(41)は「光と影で立体感が出ていて風情を感じる。雨でぬれたタイルが反射しているのもきれいな笑顔だった。」

同会館西ホールでは「六甲おろし」発表80年を記念して、同大音楽部の卒業生6人によるコンサートを開催。縦じまのユニホームを着た6人がメガホンを振りながら、六甲おろしを清らかな声で歌い上げると、観客はうっとり聞き入っていた。（龍門和諒）

今年、同会館は「六甲おろし」発表80年を記念して、同大音